

すいた環境サポーター養成講座 第11回目

日時：12/22(土)10:30~16:00

場所：万博記念公園、万博記念ビル 万博NPOセンター大会議室

◆スキル「竹林保全体験」

担当：特定非営利活動法人野と森の遊び文化協会 職員 佐藤 和博氏

万博記念公園の素晴らしい景観のひとつである竹林。その広大な竹林を管理する生態修復技術の専門組織、特定非営利活動法人野と森の遊び文化協会の竹林資源多目的活用ボランティア(竹仙人)による実技指導を受け、竹林保全の意義と竹の特徴などの説明もありました。小雨の中、受講者は体を動かしているいろんなことを学んだようでした。



◆スキル「アウトドアファーストエイド」

担当：特定非営利活動法人野と森の遊び文化協会 公認指導者会

午後の実習は環境保全型農業体験を実施する予定でしたが、雨でぬかるんだ農園での体験活動は困難なので竹林保全の体験で指導していただいた特定非営利活動法人野と森の遊び文化協会によるファーストエイド(応急手当)の実技として三角巾の使い方(包帯法)を学びました。この協会は環境保全活動のみならず、減災技術の普及活動も展開しているそうです。



受講者の方々に初めて三角巾の使い方を学んだ方も多くいらっしゃったので、みんな満足そうでした。

◆スキル「ボランティア活動中の事故防止のための身体づくり（ストレッチ）」

担当：特定非営利活動法人大阪府民循環型社会推進機構 公認指導者会

高齢者の方々が中心となるボランティア活動において、肩こりや腰痛などが気になる人々は多いです。腰痛などが無ければ、ドンドン活発に活動できる人々も大勢います。そこで今回は健康寿命を伸ばすスキルとしても万博公園で大人気のストレッチのスキルを体験しました。



◆実習 学習発表会オリエンテーション

およそ1か月後の学習発表会にむけて、そのテーマや発表のやり方について事務局よりオリエンテーションがありました。受講者の方々はオリエンテーション後にミーティング等を計画されていました。



◆ふりかえり

第11回目も、個人でのふりかえり、グループでのふりかえりをして、終了しました。